



第2回定期試験が終了しました。夏休みが終わってから2週間後という慌ただしい日程でしたが、自分で納得できる学習をし、定期試験に臨めたでしょうか。

夏休み中は、進学者へ向けての「夏季課外」へ参加した人、各種「職場体験」のお知らせを見て(進路指導係から随時 teams で皆さんに情報を送っています。見てくれていますか?興味を持つものがあれば行動しましょう。)積極的に参加した人、気になっている学校の「オープンキャンパス」に参加した人、「インターンシップ」に参加した人…と精力的に進路実現に向けて行動している姿が見られ、とても嬉しく思いました。卒業予定生は就職試験、また進学試験へ向けて、夏休み前から活動をしてきました。9月からの就職試験、そして進学の総合型/AO入試、そして推薦入試、さらに一般入試と受験が続きますが、それぞれの進路実現に向かって頑張ってください。

また、卒業予定生以外の皆さんは、第2回進路希望調査や来年度の履修指導等を通じて進路について考える機会が持てたのではないかと思います。進路希望に基づいてこれから何をどのように準備していけばよいのか具体的に考え、行動に移して行って下さい。特に来年度卒業予定で大学・短大・看護専門学校の希望者は10月の模擬試験の結果(申込締切は9月19日(金))も参考にして志望先や対策についてよく考えてください。

今回のテーマは「進学」と、「インターンシップ」についてです。

◇進学について

大学・短大…一般教養や知識を幅広く身につけながら、専門分野の研究を行う

専門学校…職業や実生活に必要な知識や技術を身に付け、それらに関わる資格取得を目指す

◎志望校を決めるには

- ①自分を知る
 - ・将来何になりたいのか、自分はその分野に向いているのか
 - ・そのためにはどんな勉強や資格が必要か
 - ・模擬試験の活用(自分の学力と入試レベルを知る)
- ②学校を知る
 - ・学校案内やHPで調べる(学校の特色や歴史、カリキュラム内容、卒業後の進路、入試情報、学費など)
 - ・学校説明会・オープンキャンパスに必ず参加する
 - ・受験校・受験方法を決め、学習計画を立てる

◎主な受験方法

大学・短大 ①一般選抜 ②学校推薦型選抜(指定校・公募) ③総合型選抜

専門学校 ①一般入試 ②推薦入試(指定校・公募) ③AO入試

◎②学校推薦型選抜/推薦入試について

中央高校では多くの生徒が②の学校推薦型選抜/推薦入試で受験します。高校から推薦をもらうためには、成績(評定平均値)、評定1の科目がないこと、欠席が少ないこと、模擬試験を受験していることや卒業予定生基礎学力テストの成績、生徒指導上の問題がないことなどが考慮されます。また、学校推薦型で受験する場合、同時に並行して他校を受験することや、就職試験等を受けることができません。

◎③総合型選抜/AO入試について

③総合型選抜/AO入試では、受験生の個性や適性、意欲などを多面的、総合的に評価するため、出願書類に志望理由書だけでなく、高校生活での活動の報告をする場合があります。そのため、学習や部活動などの記録を入学時から蓄積しておく必要があります。「やまなしキャリア・パスポート」を活用するとよいでしょう。

◎その他の留意事項

- ・通常の学校の授業と入試のレベルは違います。(目標は進学模試で全国平均点以上)
- ・進学(特に大学・短大)を考えている者は、毎日最低2時間以上の家庭学習が必要です。
- ・専門学校の中でも看護・医療系の学校は難しく、特に看護系は非常にレベルが高くなっているので、高校入学時から受験の準備を始める必要があります。
- ・かかる費用についても保護者と相談しておきましょう。出願時の受験料はもちろん、入学手続き時(合格後すぐ)に必要な初年度納入金等もしっかり確認しておくこと。

(参考) 入学金+授業料:120万円(私立大文系)、150万円(私立大理系)、100~140万円(専門学校)

- ・各学校の入試情報については必ず最新の公表情報(HP等)で確認してください。

◇インターンシップについて

中央高校では2年次(ただし3年次以上の卒業予定でない生徒も可)にインターンシップを行うことができます。インターンシップは「就業体験」とも言われ、企業等で一定期間(3~5日間)実習生として働くことで現実の社会を知り、将来の進路を考える参考にする、また働くことの意味、仕事の厳しさ、一方で楽しさを実感するなどを目的としています。アルバイトでは体験できない職種(病院、保育園、図書館、科学館、美容室など)もありますので、有意義に活用するとよいでしょう。

※単位認定:終了後に年度末に1単位の認定がされます。

注1) 前年度の履修登録時に申請が必要

注2) インターンシップ期間以外に学校での事前指導(9時間)や事後指導(2時間)等に出席することが条件

今年度も無事インターンシップを実施することができました。提出された日誌やレポートには、通常では知ることや行うことのできない職場での仕事が体験できて満足していること、働くことの「大変さ」と、一方で「やりがい」をしっかりと実感できたこと、どの職場においてもコミュニケーションやチームワークが大切であることを学べたことなどが記されており、今後の高校生活や自分の進路を考える際に活かされることと思います。実習中だけでなく、事前・事後の活動もあって大変ですが、しっかり取り組んだ生徒にとってはインターンシップを通じて得たものは大きかったはずです。以下は参加生徒の感想です。

・まだ自分の進路については悩み中だが、介護の仕事を体験したいという気持ちで参加した。実際に行ってみるとただ利用者様のお世話をするだけでなく、コミュニケーションが大事であることが分かった。特に相手の名前をしっかりと覚えて声かけをすることが大切なので、持ち物の名前などを見ながら必死に覚えた。また、最初は分からないことなどを聞くことができなかったが、後半は自分からたくさん聞いた。インターンシップを終えて、私が介護職に就くかはまだわからないが、職場の雰囲気を知らないとその仕事に就きたいとは思わないので、良い社会経験をつむことができ、将来をちゃんと考えることができた。

(介護施設)

・進路希望は就職なので、仕事の体験がしたいと思い参加した。慣れない仕事と職場の人の入れ替わりの多さで初日は人の名前も覚えられず、分からないこともなかなか聞けず、思ったように仕事ができなかったために悔しさが残った。後半は自分から声をかけることもできるようになり、多くの工程が指示通りにでき、自分でも成長を感じることができた。自分の作ったものでお客様が幸せな気持ちになってくれたら嬉しいという気持ちや、スタッフの方にたくさん助けてもらい人の温かさも感じることもできた。

(レストラン・弁当販売店)